



2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月3日

上場会社名 アークランズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 9842 URL <https://www.arclands.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長（ＣＯＯ） （氏名）佐藤 好文
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）伊野 公敏 TEL 048-610-0641
半期報告書提出予定日 2025年10月3日 配当支払開始予定日 2025年10月20日
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 有 （機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	170,752	7.3	8,878	△12.8	8,760	△13.8	5,680	△9.5
2025年2月期中間期	159,153	0.6	10,178	14.7	10,166	12.7	6,278	△10.4

（注）包括利益 2026年2月期中間期 5,798百万円（△12.0％） 2025年2月期中間期 6,586百万円（△15.7％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	91.19	—
2025年2月期中間期	100.77	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期中間期	353,683	125,975	35.4	2,011.84
2025年2月期	334,645	121,467	36.1	1,940.00

（参考）自己資本 2026年2月期中間期 125,334百万円 2025年2月期 120,859百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2026年2月期	—	20.00			
2026年2月期（予想）			—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	335,000	6.1	19,300	18.9	19,000	△0.9	11,600	14.5	186.19

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 有

新規 1社 (社名) ペッツファーストホールディングス株式会社

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年2月期中間期	64,733,372株	2025年2月期	64,733,372株
② 期末自己株式数	2026年2月期中間期	2,435,069株	2025年2月期	2,434,592株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年2月期中間期	62,298,635株	2025年2月期中間期	62,301,889株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	10
3. その他	12

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年3月1日から2025年8月31日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の底堅さに加え、インバウンド需要の回復が観光や外食などを中心に下支えし、景気は緩やかな回復基調を維持しています。

一方で、国内の個人消費については、賃金は持ち直しているものの物価上昇が上回る局面が続き、実質負担感から購買行動は抑制的です。

また、エネルギーや輸入原材料の価格は輸入物価ベースでは落ち着きがみられる一方、企業物価ではなお上振れており、コスト環境は一様ではありません。加えて、為替の変動や金融環境の先行き、海外経済の不確実性などを背景に、景気の見通しには不透明感が残る状況です。

このような環境下、当社グループは主力である「住・食」関連事業を深耕・発展させ、消費者の生活により近い形で網羅的な商品、サービスの提供に努めて参りました。

その結果、当社グループの当中間連結会計期間の売上高及び営業収入は178,716百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益は8,878百万円(前年同期比12.8%減)、経常利益は8,760百万円(前年同期比13.8%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は5,680百万円(前年同期比9.5%減)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

<小売事業>

小売事業の主力であるホームセンター部門においては、品目別では家庭用品およびカー・レジャー用品が堅調に推移した一方、建築関連資材・用品及びDIY関連は伸び悩みました。

リフォームサービスでは、2024年7月1日を効力発生日として実施した株式会社フレッシュハウスの完全子会社化の影響により、売上高及び営業収入は前年同期比60.3%増となりました。

また、ペット事業では、2025年6月6日を効力発生日として実施したペッツファーストホールディングス株式会社の完全子会社化の影響により、売上高及び営業収入は前年同期比32.0%増となりました。

ホームセンターの8月末の店舗数は、3月にホームセンタームサン新発田店(新潟県新発田市)、5月にスーパービバホーム茨木目垣店(大阪府茨木市)、8月にホームセンタームサン須坂店(長野県須坂市)を出店した結果、前期末から3店舗増加し142店舗となりました。

この他、売上総利益率が改善したことに加えて、販売費及び一般管理費については宣伝広告のデジタルシフト、物流の効率化等により抑制を図り一定の効果があったものの、一方では新規出店コスト、人件費単価、水道光熱費の増加が負担となりました。

その結果、小売事業の売上高及び営業収入は139,235百万円(前年同期比6.9%増)、営業利益は4,202百万円(前年同期比14.6%減)となりました。

なお、2025年6月～8月の既存店売上高の状況は以下のとおりであります。

小売事業における2025年6月～8月既存店売上高前年同月比推移(%)

	売上高	客数	客単価	所見
6月	99.2	95.9	103.4	前年より土曜日が1日少なかったことがマイナスに働きました。一方で、前年より降雨が少なく気温も高かったため、季節商品の販売が好調に推移し、全体を下支えしました。
7月	101.6	98.7	102.9	前年より降雨が少なかったことから、季節商品は引き続き好調に推移しました。加えて、政府備蓄米の販売や空調ウェアのテレビCMの実施も寄与しました。
8月	96.0	94.2	102.0	前年より日曜日が1日多かったことがプラスに働きました。一方で、前年の「南海トラフ地震臨時情報」を受けた防災用品を中心とする特需の反動減が影響し、苦戦しました。

<卸売事業>

卸売事業の売上高及び営業収入は2,064百万円(前年同期比12.7%減)、営業利益は236百万円(前年同期比32.5%減)となりました。

<外食事業>

外食事業における主力のとんかつ専門店「かつや」(国内)におきましては、店舗のDX化の推進に加え、8回のフェアメニューと1回のキャンペーンを実施いたしました。その結果、1～6月における直営店の既存店売上高前年比は104.3%と好調に推移いたしました。出退店につきましては、直営店3店舗、FC店5店舗の出店により、6月末の店舗数は前期末から純増8店舗の499店舗となりました。

からやま・からあげ縁(国内)につきましては、6回のフェアメニューと1回のキャンペーンを実施いたしました。出退店につきましてはFC店1店舗の閉店により6月末の店舗数は純減1店舗の154店舗となりました。

また、コスト面においては、原材料価格の高騰に伴う原価率の上昇に加え、水道光熱費の増加もあり、利益を圧迫する要因となりました。

以上の結果、売上高及び営業収入は29,621百万円(前年同期比11.3%増)、営業利益は2,585百万円(前年同期比20.1%減)となりました。

<不動産事業>

当社の不動産事業は、主に当社が開発した店舗のテナント賃料を収入源としています。

これらの店舗には、核として当社が運営するホームセンターが出店しており、家電量販店、スーパーマーケット等のテナントを誘致し併設することで、相互送客の効果が生まれ、安定した収益を確保しつつ、店舗の集客力を向上させています。

当中間連結会計期間においては前年10月に開業したアークスクエア湘南平塚、今年5月に開業したアークスクエア茨木、8月に開業したアークスクエア須坂の影響により、売上高及び営業収入は7,248百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益は1,727百万円(前年同期比5.8%増)となりました。

<その他>

その他にはフィットネス事業「JOYFIT」5店舗及び「FIT365」7店舗を含んでおります。売上高及び営業収入は547百万円(前年同期比9.2%増)、営業利益は46百万円(前年同期比33.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①連結財政状態の概況

(総資産)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比で19,037百万円増の353,683百万円となりました。これは主に既存店の底地売却により土地が17,733百万円減少した一方で、現金及び預金が7,268百万円増加したほか、新規出店およびペットファーストホールディングス株式会社の完全子会社化に伴い、建物及び構築物が14,891百万円、のれんが5,128百万円、受取手形及び売掛金が3,670百万円増加したことによるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比較して14,529百万円増加し、227,707百万円となりました。これは主に買掛金及び電子記録債務が7,827百万円、未払法人税等が3,713百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比較して4,508百万円増加し、125,975百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益により利益剰余金が4,385百万円増加したことによるものです。

②連結キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比較して7,160百万円増加し、25,205百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、12,284百万円(前年同期は13,844百万円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前中間純利益9,198百万円、減価償却費5,794百万円、仕入債務の増加額4,197百万円、法人税等の支払額3,115百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は、2,481百万円(前年同期は11,616百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入20,593百万円、有形固定資産の取得による支出11,099百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出6,120百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、7,604百万円(前年同期は652百万円の使用)となりました。これは主に長期借入れによる収入及び短期借入金の純増額15,316百万円、長期借入金の返済による支出20,773百万円、配当金の支払額1,245百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想につきましては、2025年4月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,053	25,321
受取手形及び売掛金	10,912	14,582
商品及び製品	52,741	57,080
その他	5,568	7,259
貸倒引当金	△37	△147
流動資産合計	87,237	104,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	96,490	111,381
土地	62,924	45,190
リース資産(純額)	17,217	17,314
その他(純額)	8,557	5,327
有形固定資産合計	185,189	179,214
無形固定資産		
のれん	16,096	21,225
商標権	7,433	7,210
その他	7,291	7,584
無形固定資産合計	30,821	36,020
投資その他の資産		
投資有価証券	2,785	3,057
敷金及び保証金	24,746	25,408
その他	3,910	5,946
貸倒引当金	△45	△60
投資その他の資産合計	31,396	34,351
固定資産合計	247,407	249,586
資産合計	334,645	353,683
負債の部		
流動負債		
買掛金	32,706	37,535
電子記録債務	9,798	12,796
短期借入金	28,800	29,789
1年内返済予定の長期借入金	26,004	8,996
1年内償還予定の社債	100	—
リース債務	1,708	1,797
未払法人税等	3,532	7,246
賞与引当金	1,954	2,196
株主優待引当金	276	296
役員退職慰労引当金	180	—
契約負債	635	1,247
その他	14,794	18,203
流動負債合計	120,491	120,106
固定負債		
長期借入金	42,014	58,968
リース債務	22,980	22,884
長期預り保証金	15,359	15,741
退職給付に係る負債	427	433
資産除去債務	5,737	6,319
その他	6,167	3,253
固定負債合計	92,686	107,601
負債合計	213,178	227,707

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,462	6,462
資本剰余金	11,312	11,313
利益剰余金	106,285	110,671
自己株式	△3,276	△3,277
株主資本合計	120,784	125,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	198	294
為替換算調整勘定	△124	△128
繰延ヘッジ損益	—	△2
その他の包括利益累計額合計	74	163
非支配株主持分	607	641
純資産合計	121,467	125,975
負債純資産合計	334,645	353,683

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	159,153	170,752
売上原価	99,186	105,629
売上総利益	59,966	65,123
営業収入		
貸貸収入	7,126	7,823
その他	107	140
営業総利益	67,200	73,087
販売費及び一般管理費	57,021	64,208
営業利益	10,178	8,878
営業外収益		
受取利息	25	28
受取配当金	126	16
仕入割引	52	33
為替差益	—	62
持分法による投資利益	121	83
その他	274	323
営業外収益合計	599	547
営業外費用		
支払利息	589	531
為替差損	14	—
その他	7	134
営業外費用合計	611	665
経常利益	10,166	8,760
特別利益		
固定資産売却益	3	664
特別利益合計	3	664
特別損失		
固定資産除却損	12	41
店舗閉鎖損失	305	60
解体撤去費用	33	78
貸倒引当金繰入額	81	—
その他	3	44
特別損失合計	436	225
税金等調整前中間純利益	9,733	9,198
法人税、住民税及び事業税	3,518	6,588
法人税等調整額	△98	△3,097
法人税等合計	3,420	3,490
中間純利益	6,313	5,708
非支配株主に帰属する中間純利益	34	27
親会社株主に帰属する中間純利益	6,278	5,680

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
中間純利益	6,313	5,708
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	205	95
為替換算調整勘定	62	0
繰延ヘッジ損益	—	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△3
その他の包括利益合計	273	90
中間包括利益	6,586	5,798
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	6,551	5,770
非支配株主に係る中間包括利益	35	28

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	9,733	9,198
減価償却費	5,323	5,794
のれん償却額	767	931
賞与引当金の増減額(△は減少)	151	190
受取利息及び受取配当金	△151	△44
支払利息	589	531
固定資産売却損益(△は益)	△2	△664
売上債権の増減額(△は増加)	△711	△1,431
棚卸資産の増減額(△は増加)	578	△2,962
その他の資産の増減額(△は増加)	△812	△957
仕入債務の増減額(△は減少)	1,930	4,197
その他の負債の増減額(△は減少)	520	716
その他	464	371
小計	18,379	15,870
利息及び配当金の受取額	142	37
利息の支払額	△557	△507
法人税等の支払額	△4,120	△3,115
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,844	12,284
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,078	△11,099
有形固定資産の売却による収入	9	20,593
無形固定資産の取得による支出	△1,226	△749
敷金及び保証金の差入による支出	△403	△275
敷金及び保証金の回収による収入	62	123
預り保証金の受入による収入	521	599
預り保証金の返還による支出	△127	△64
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	574	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△6,120
その他	51	△526
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,616	2,481
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△25,000	191
長期借入れによる収入	30,000	15,125
長期借入金の返済による支出	△3,534	△20,773
リース債務の返済による支出	△856	△900
配当金の支払額	△1,246	△1,245
その他	△15	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△652	△7,604
現金及び現金同等物に係る換算差額	43	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,617	7,160
現金及び現金同等物の期首残高	18,313	18,044
現金及び現金同等物の中間期末残高	19,930	25,205

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

当中間連結会計期間において、ペットファーストホールディングス株式会社の株式を100%取得したことにより、同社及び同社の子会社(7社)を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2024年3月1日至2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 2	調整額 (注) 3	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計			
営業収益(注) 1								
(1) 外部顧客への営業収益	130,189	2,363	26,624	6,708	165,886	500	—	166,387
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	2	3,070	—	941	4,014	—	△4,014	—
計	130,191	5,434	26,624	7,650	169,901	500	△4,014	166,387
セグメント利益	4,922	350	3,236	1,632	10,141	34	2	10,178

(注) 1. 営業収益には、売上高と営業収入が含まれております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネス事業を含んでおります。

3. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自2025年3月1日至2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 2	調整額 (注) 3	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計			
営業収益(注) 1								
(1) 外部顧客への営業収益	139,235	2,064	29,621	7,248	178,169	547	—	178,716
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	3	3,495	—	992	4,491	—	△4,491	—
計	139,238	5,560	29,621	8,240	182,660	547	△4,491	178,716
セグメント利益	4,202	236	2,585	1,727	8,751	46	80	8,878

(注) 1. 営業収益には、売上高と営業収入が含まれております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネス事業を含んでおります。

3. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「小売事業」セグメントにおいて、ペッツファーストホールディングス株式会社の株式を取得したことにより、当中間連結会計期間にのれんが6,023百万円発生しています。

なお、のれんの金額は、当中間連結会計期間末において、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. その他

事業・部門・品目別販売実績

(単位：百万円、%)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)		当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)		増減		(参考) 2025年2月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
卸売事業	2,363	1.4	2,064	1.1	△299	△12.7	4,426	1.3
小売事業	130,189	78.3	139,235	77.9	9,046	6.9	255,270	77.1
ホームセンター部門	125,577	75.5	133,347	74.6	7,770	6.2	246,251	74.4
建築関連資材・用品及 びD I Y関連用品	43,034	25.9	42,631	23.9	△402	△0.9	83,152	25.1
リフォームサービス	6,560	3.9	10,519	5.9	3,958	60.3	17,951	5.4
家庭用品	37,083	22.3	37,084	20.7	1	0.0	73,650	22.2
カー・レジャー用品	12,893	7.7	13,119	7.3	225	1.8	24,764	7.5
園芸用品	13,162	7.9	13,069	7.3	△92	△0.7	21,415	6.5
ペット	12,061	7.3	15,923	8.9	3,861	32.0	23,689	7.2
その他	781	0.5	1,000	0.6	218	28.0	1,627	0.5
その他小売部門	4,611	2.8	5,888	3.3	1,276	27.7	9,018	2.7
外食事業	26,624	16.0	29,621	16.6	2,996	11.3	56,145	17.0
不動産事業	6,708	4.0	7,248	4.1	539	8.0	14,104	4.3
その他	500	0.3	547	0.3	46	9.2	1,018	0.3
連結営業収益	166,387	100.0	178,716	100.0	12,329	7.4	330,964	100.0

(注) 営業収益には、売上高と営業収入が含まれております。